

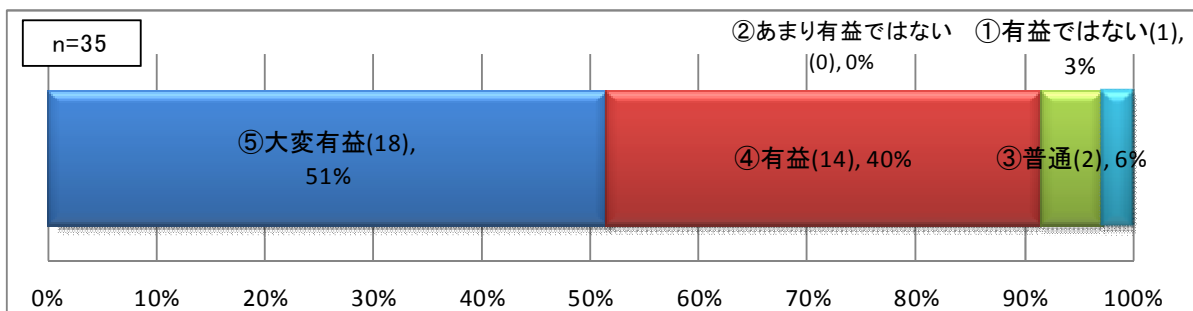
『モノづくり人材の育成・再教育に資する実践的プログラム「金属・材料工学」』  
2014年度 受講者アンケート結果

※アンケート対象者：40名、アンケート回答者：35名

## 1. プログラムの有益性について

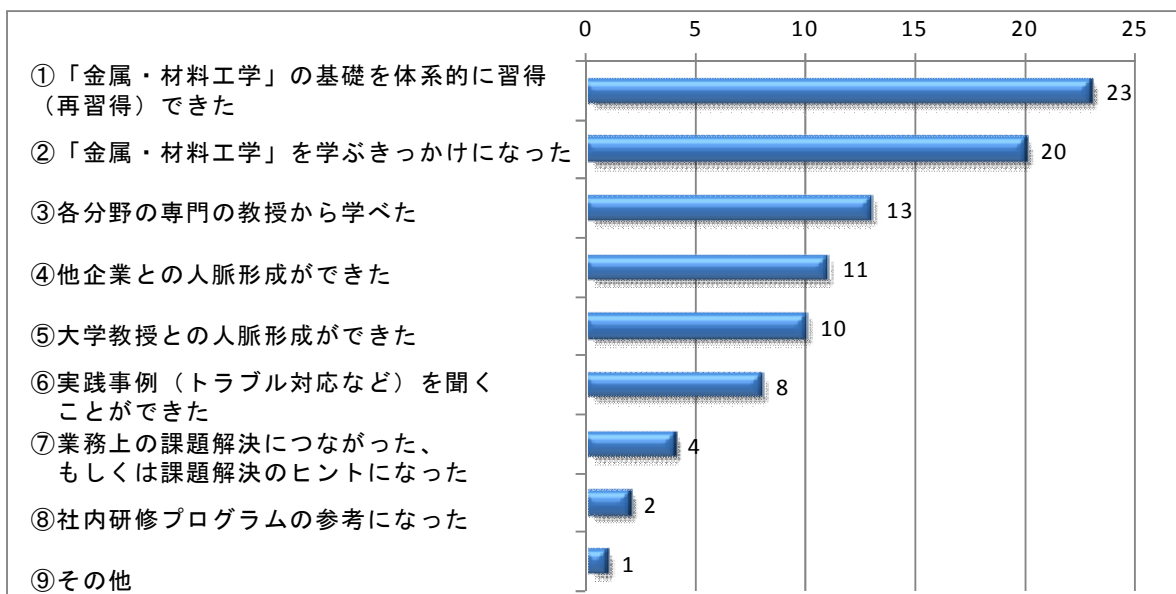
### (1) 講義の有益性

アンケート回答者の91%（32名）が、「大変有益」51%（18名）、「有益」40%（14名）と回答。（参考：2003年度88%）

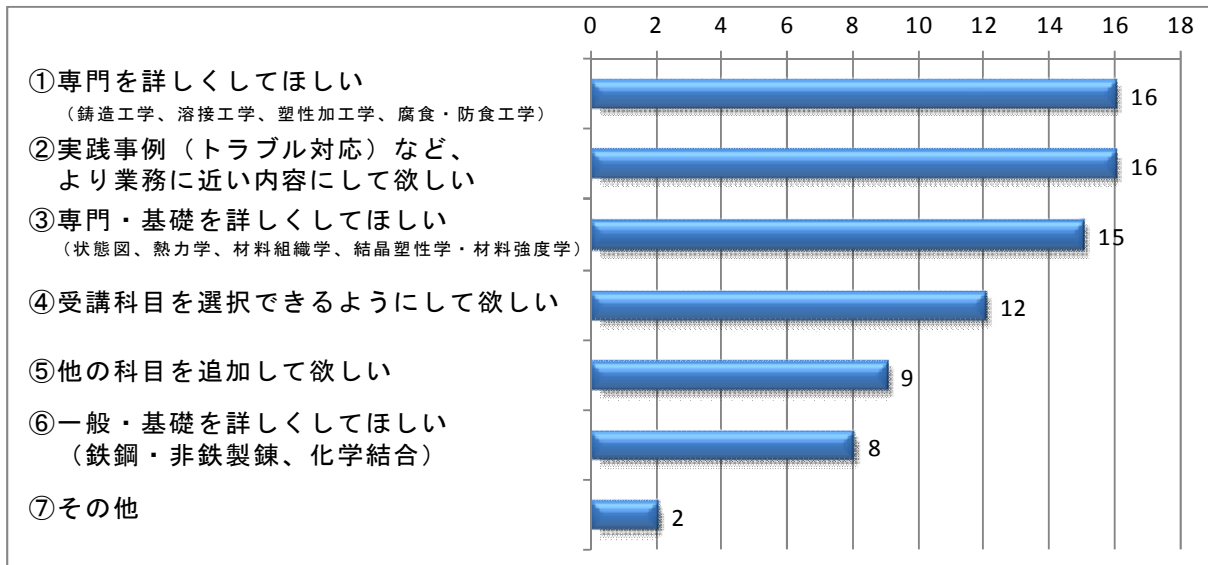


### (2) 有益性のポイント（複数回答）

「金属・材料工学の基礎を体系的に習得（再習得）」（23名）、「金属・材料工学を学ぶきっかけ」（20名）と回答。



## 2. 今後のプログラムへの要望について



〔「⑤他の科目を追加してほしい」について希望する分野〕（一部抜粋）

- ・ 熱処理
- ・ 熱処理や表面改質
- ・ 評価技術、分析技術
- ・ リサイクル工学
- ・ セラミックス等、非金属材料について
- ・ 最新の金属材料の紹介

## 3. 2014年度プログラム受講者の声（一部抜粋）

- ・ 金属材料について基礎から学ぶことができ、大変有意義な勉強をさせて頂いた。
- ・ 今回のプログラムは材料系学部出身者にとってはまさに再勉強といった形で基礎から体系的に学ぶ事ができた。業務の中で必要だと感じた上で勉強に望むのはとてもモチベーションを高く維持する事ができ、大変有意義な時間となった。
- ・ 今まであまり学んでこなかった金属や材料工学に対する知見が増えた。  
また異業種の方々とのコミュニケーションも図ることができ非常に有意義だった。
- ・ 種々の金属に対する熱処理手法を系統的に学べればもっと良かった。

以上